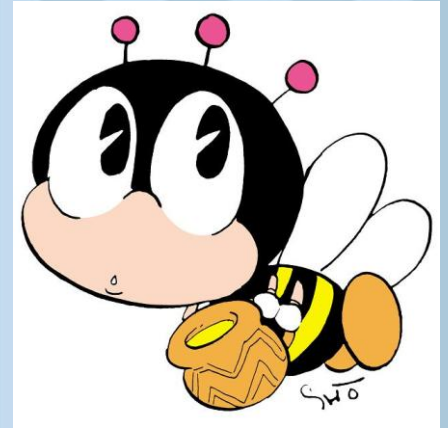


はじめまして！ マナビィです♪

平成 25 年より、出雲市生涯学習講座を盛り上げていく仲間に生涯学習マスコット「マナビィ」が加わりました。

今後どんどん活躍していきますので広報や講座案内など様々なところで探してみてください。皆様これからどうぞよろしくお祈いします。



生涯学習講座のマスコット
「マナビィ」

「仮面ライダー」などの作者である漫画家の石ノ森章太郎先生のデザインで、平成元年に千葉市の幕張メッセなどで開かれた第1回全国生涯学習フェスティバル（まなびピア）でデビューしました。以来、生涯学習のマスコットとして、生涯学習の新しい風によって、全国各地を飛びまわって、大活躍しています。

どうして「マナビィ」と名づけられたの？

生涯学習の「学び」とミツバチの「bee」とを合わせて「マナビィ」と名づけられました。

マナビィの触覚はなぜ3本あるの？

「学」という漢字に角が3本あるように、学ぶことが好きなマナビィには触角が3本あります。

マナビィが持っている壺の中身はなに？

マナビィが持っている壺に入っているものは、聖書に出てくる「マナ」という食べ物です。コエンドロ（コリアンダー）の実で、その味は蜜を入れたお菓子のようであったとあります。むかし、イスラエルの民がエジプトを脱出して、荒野を旅していたときに、天からさずかり、それから40年もの間、この「マナ」だけを食べて生きのびたといわれています。石ノ森先生は、「学び」は人々が生きていくうえで欠かせないものであるというメッセージを、マナビィに託したのかもしれませんが。

※参考文献 「月刊マナビィ」2002年11月号